

くすのき



学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成

小中一貫あいさつ運動・呉の子どもを守る会議啓発活動

広中央中学校区の取組として、今年度も「小中一貫あいさつ運動」を行っています。

本校の5・6年生児童と、広中央中学校生徒会の皆さんを中心に、朝早くから登校児童に元気な声をかける姿は、本校児童にとっても大きな励みとなっています。また、小学生と中学生があいさつを交わすことで、互いをより身近に感じ、連携が一層深まっています。11月4日（火）には、呉の子どもを守る会議啓発活動として、本校学校運営協議会会長田村様やPTA執行部の皆様にもお越しいただきました。

あいさつは、相手への敬意と好意を伝える第一歩であり、児童の社会性や自己肯定感を育む大切な基盤です。さらに、あいさつが活発な地域では、住民同士のつながりや連帯感が生まれ、不審者の出現を抑止し、いざというときの協力にもつながります。その意味でも、防犯・防災の観点からあいさつは極めて重要です。

今後も、笑顔があふれるあいさついっぱいの三坂地小学校を目指して、取組を進めてまいります。



第4回広中央中学校区合同研修会～研究授業～

10月31日（金）、広中央中学校において、第4回中学校区合同研修会の研究授業を実施しました。第2学年の理科および第3学年の英語科の授業を参観後、本中学校区の研究主題である「個を大切にしたい支援」と「かかわりの場の設定」を視点を据え、校種を超えて活発な協議を行いました。協議後には、呉市教育委員会の本谷主査様、下正指導主事様より、各教科についてご指導をいただきました。さらに、岩城指導主事様からは、「教師が教えたいことを児童生徒が学びたいことに転化していく授業改善」についてご指導・ご助言をいただきました。

今回の研修を踏まえ、小中が一体となって「主体的に学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」に向けた連携をさらに深め、今後も研究を進めてまいります。

